

第四回ふるさと俳句コンクール入賞者及び作品

【教育長賞】：三点（小一点・中一点・高一点）

- 柘原小学校 五年 鶴田 成貴
- 十五夜の月を明りに すもうとる
- 垂水中央中学校 三年 川畑 英侃
- ウグイスの 初鳴き聞いて びわ熟れる
- 垂水高等学校 二年 林 美幸
- 雪兔 白さが何故か 温かい

【特選】：十一点（小四点・中四点・高二一点）

- 新城小学校 五年 田中 由紀菜
- 汗をかき 今年もいっばい 稲を刈る
- 垂水小学校 六年 山本 あすか
- 鳴きだした 朝の目覚まし 蟬の声
- 水之上小学校 六年 津止 佑実
- ばく発で 入道雲が もう一つ
- 柘原小学校 六年 大迫 里楽
- 目覚めれば 磯の香りと 波の音
- 垂水中央中学校 一年 坂元 陽祐
- 萩の花 さがしてのぼる 高峠
- 垂水中央中学校 一年 中谷 朋生
- 黄金色 誰に手を振る ススキの穂
- 垂水中央中学校 二年 大山 梨沙
- 「よく来たね」 祖父母の笑みで 雪溶ける
- 垂水中央中学校 二年 戸田 朱香
- 稲刈り後 ひとりさみしく とぶとんぼ
- 垂水高等学校 一年 西尾 美里
- 太鼓鳴り 気持ち高ぶる 夏祭り
- 垂水高等学校 二年 港 佑星
- 糸瓜たち よんごひんごの へそ曲がり

【入選】：二十一点（小八一点・中八一点・高五一点）

- 垂水小学校 五年 西尾 美結
- 夏過ぎて ちがう顔する 本城川
- 水之上小学校 五年 永田 大征
- いわし雲 金色になり 飛んでいく
- 柘原小学校 五年 岩元 翔大
- それそれ 満月の下で つなを引く

- 協和小学校 五年 岩切 美遊
- 赤とんぼ まっかな空で おにごっこ
- 垂水小学校 六年 平 和真
- 風が吹き ほのかに揺れる ススキかな
- 垂水小学校 六年 中崎 杏実
- 高峠 つつじの中で かくれんぼ
- 柘原小学校 六年 永田 登意
- 祖母とぼく おしゃべりしながら 豆つめる
- 柘原小学校 六年 大迫 里楽
- 帰り道 夕焼け色に そまる顔
- 垂水中央中学校 一年 堀添 聖菜
- あざやかに 千本イチョウが 秋つげる
- 垂水中央中学校 一年 岩元 渚
- 錦江湾 戦う漁師 光る汗
- 垂水中央中学校 二年 森吉 美空
- 鼻赤め 肩に灰のせ 帰路につく
- 垂水中央中学校 二年 堂脇 彩花
- 千本の イチョウが織り成す 夢舞台
- 垂水中央中学校 三年 篠原 あや
- まぶしいな びわの笑顔が 手の中に
- 垂水中央中学校 三年 迫田 有希
- 高峠 ツツジの花が おもてなし
- 垂水中央中学校 三年 岩元 汐音
- 秋雨で 牛根大橋 虹かかる
- 垂水中央中学校 三年 濱屋 弥央
- 春風に ゆらゆら揺れる びわ袋
- 垂水高等学校 一年 森 明日香
- 昼下がり カマキリ踊る 稲刈りよ
- 垂水高等学校 一年 町田 奈央
- 夕立に 浴衣行き交う 夏祭り
- 垂水高等学校 一年 中島 さくら
- たんぼぼが ふんわり旅に かけてく
- 垂水高等学校 二年 永瀬 孝行
- 矢を放つ 夜空に大輪 咲き誇る
- 垂水高等学校 三年 迫田 菜菜美
- あとわずか 我が家で過ごす 日々数え